

【はじめに】

子どもが育ち 地域に活力が



蒲郡市教育委員会教育長 壁 谷 幹 朗

昨年度に引き続き、「地域安全・青少年健全育成市民大会」を開催することができました。本年度は、新しい方式を踏襲し、内容を一部精選しての開催でした。大会運営につきましては、事務局の青少年センターをはじめ、ご尽力いただきました関係の皆様方に、まずもってお礼を申し上げます。

さて、昨年5月にコロナが5類へ移行となり、学校や地域の活動もほぼ制限なく活発に行われるようになりました。本市の地域学校協働活動におきましても、市内の全小中学校に推進員が配置され、地域の特色を生かしながら、様々な活動が展開されています。本当にありがとうございます。

地域の特色といった点で、本年度特筆されるのは、8月下旬に、蒲郡市民会館にて開催されました「鵜殿氏 落日の彼方に」という舞台劇のことです。この舞台劇は、「上ノ郷城跡保存研究会」を主体とする実行委員会が、市民に鵜殿氏の歴史を伝えようと企画されました。公演に至るまでには、公民館や学校、協働活動の推進員など、地域の様々な方々がつながり、中部中学校区の生徒や先生方が中心となって役を演じ、大成功を収めることができました。

これは、この舞台劇に参加した中部中学校2年生の女子生徒が公演する前に抱負を綴った一節です。

私は、地域にある上ノ郷城のお話をずっとつなげていきたいと思い参加しました。人前に出るのはあまり得意ではありませんが、勇気を出してやってみると思ったより楽しく、互いにアドバイスをし合いながら一緒に成長してきました。自分達で作ってきたこの劇を少しでも多くの人に興味を持ってもらえるよう最高の舞台にしたいと思います。

「ずっとつなげていきたい」からは、地元に愛着を感じながら、上ノ郷城に興味をもち、多くの人に知ってもらいたいという強い思いがうかがえます。

また、「一緒に成長して」からは、参加者一丸となって、よりよい場面を創りあげようと、練習に取り組んできた達成感が伝わってきます。

舞台劇終了後、岩瀬正和実行委員長も、「多世代が交流することで、関係者みんながやる気と元気をもらえた」とコメントされています。

この活動を通して、子どもが育ち、地域に活力が生まれ、子どもたちと地域との絆がより深まったのではないかと思います。子どもたちが、世代を超えた人たちと協働して学んでいくことは、いっそう地域への思いを高めていくことと思われます。

最後になりますが、青少年健全育成推進事業にご尽力をいただいております皆様方に深く感謝申し上げ、本事業のさらなる充実・発展をご祈念いたしまして結びとさせていただきます。

も く じ

は じ め に

I	令和5年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業	-----	1
---	--------------------------	-------	---

II	令和5年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動	----	2
----	---------------------------	------	---

1	大塚地区	-----	3
---	------	-------	---

2	三谷地区	-----	7
---	------	-------	---

3	蒲郡地区	-----	9
---	------	-------	---

4	中部地区	-----	14
---	------	-------	----

5	塩津地区	-----	17
---	------	-------	----

6	形原地区	-----	24
---	------	-------	----

7	西浦地区	-----	30
---	------	-------	----

○	令和5年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ	---	34
---	----------------------------	-----	----

III	令和5年度 補導員活動	-----	34
-----	-------------	-------	----

IV	令和5年度 青少年健全育成協力店	-----	35
----	------------------	-------	----

V	令和5年度 地域安全・青少年健全育成市民大会	-----	39
---	------------------------	-------	----

○	大会宣言	-----	40
---	------	-------	----

VI	令和5年度 子ども・若者支援活動報告	-----	41
----	--------------------	-------	----

お わ り に

I 令和 5 年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業

1 地域ふれあい活動の変遷

蒲郡市は、昭和 41 年 5 月の「青少年を守る都市宣言」の決議から、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和 56・57 年度に文部省(当時)と愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことを契機に、各中学校区で青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導で PTA を対象に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その後、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

時代が平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成 7 年度から数年をかけて、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加が増加し、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描き、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会となる。子どもたちは、地域の多くの方々と顔を突き合わせ、共に活動し、声を掛け合いながら互いの絆を深め、地域を愛する心が培われる。それが、子どもたちの健全な育成につながる。「地域ふれあい活動」は、こうした意味でとても価値ある活動となっている。同時に地域の活性化や地域の人々のつながりを作る活動としても意義深いものとなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。また、令和 2 年から長く続いた新型コロナウイルス感染症の流行のため、多くの地区で内容を見直したり、中止に追い込まれたりした。令和 5 年 5 月 8 日をもって 5 類に移行となり、本年度はようやく本格的な活動が実施できるようになった。

2 市内の青少年問題

蒲郡警察署の「犯罪と少年非行」によれば、市内の犯罪触法少年の数は、10 年前の平成 25 年を 100(33 人)としたとき、令和 4 年は 45(15 人)だった。ぐ犯・不良行為少年は、平成 25 年を 100(1,030 人)としたとき、令和 4 年は 27(172 人)と 10 年前に比較しても大きく減少している。警察に補導される行為別では、深夜徘徊が 151 人(87.8%)、喫煙が 13 人(7.6%)となっており、合わせて 95%を占めている。

小中学生の問題行動においては、市内全体としては大変落ち着いた状況であるが、やはり個々に見ていくと家庭や本人に問題を抱え、安定した生活を送ることのできない子どもたちもいる。とりわけ不登校については、令和 4 年度調査では、病気以外の年間 30 日以上欠席者は中学校で 133 名(6.3%)、小学校で 49 名(1.3%)であった。小中学校とも前年度より増加している。

青少年センター内の子ども・若者相談窓口では、メール相談ができる仕組みも整え、多様な相談に対応している。

Ⅱ 令和5年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動

1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月24日 (月)	大塚中学校	22
	5月18日 (木)	大塚公民館	77
	2月19日 (月)	大塚中学校	22
2 三谷	5月11日 (木)	三谷中学校	18
	5月28日 (日)	三谷中学校	89
3 蒲郡	4月12日 (水)	蒲郡中学校	21
	5月8日 (月)	蒲郡中学校	92
4 中部	5月10日 (水)	中部中学校	82
	11月7日 (火)	中部中学校	35
5 塩津	5月6日 (土)	塩津中学校	81
	10月12日 (木)	塩津小学校	70
6 形原	4月8日 (土)	形原中学校	20
	5月13日 (土)	形原中学校	66
	1月13日 (土)	形原中学校	20
7 西浦	4月20日 (木)	西浦中学校	40
	5月18日 (木)	西浦公民館	62

2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	1,300	6月10日 ～ 9月10日
2 三谷	1	350	11月12日
3 蒲郡	7	1,490	5月14日 ～ 11月12日
4 中部	7	1,700	5月20日 ～ 11月5日
5 塩津	9	1,807	5月27日 ～ 10月15日
6 形原	3	814	10月26日 ～ 11月28日
7 西浦	5	337	5月21日 ～ 11月26日
計	36	7,798	

1 大 塚 地 区

1 健全育成協議会運営委員会

4月24日(月)13時より運営委員22名が大塚公民館に集まり、令和5年度大塚中学校区青少年健全育成協議会第1回運営委員会を開き、以下の内容を協議した。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) 令和5年度活動方針 | (2) 令和5年度活動計画 |
| (3) 令和5年度委託料予算 | (4) 令和5年度健全育成協議会のもち方 |
| (5) 3地区地域ふれあい活動 | (6) その他 |

・今年度から大塚中学校区健全育成協議会のスローガンを昨年度の運営委員会で仮決定された「みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子」が承認された。令和2年度から3年間ふれあい活動が中止され、それぞれの立場でどのように関わっていけるか意見を出し合いすりあわせた。話し合いの結果、大塚地区の情報を共有する素晴らしい機会となる本大会を通常開催すること、ふれあい活動は少しずつ例年のようにもどしていくために内容を考えて開催する方向であることを決定した。

2 大塚中学校区青少年健全育成協議会

- (1) 日 時 令和5年5月18日(木)13時45分～15時30分

- (2) 場 所 大塚公民館

- (3) 参加者 3地区総代、市議員、奉公社代表理事、青少年センター長、公民館長、公民館主事、保護司、民生・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員、更生保護女性会、蒲郡警察、交通安全事務局長、地域・少年補導委員、老人クラブ代表、子ども会役員、小中PTA役員、おおつか児童館長、大塚・大塚西保育園長、地域学校協働活動推進員、小中高の学校関係者(計 77名)



<情報交換>

- (4) 内 容

- ・地域と連携した学校づくりアンケートについて
- ・避難所開設担当職員の概要について

- ① 市民憲章唱和・・・大岡 洋平 氏(大塚中学校 PTA 副会長)
- ② 開会の言葉・・・小林 正敬 氏(西大塚総代)
- ③ 主催者あいさつ・・・飛田 直俊 氏(協議会長、東大塚総代)
- ④ 来賓あいさつ・・・森 匡司 氏(蒲郡警察署生活安全課長)

- ⑤ 協 議

ア ねらい

家庭・学校・地域及び関係諸機関が手を取り合って、地域ぐるみの青少年健全育

成活動を展開し、心身ともにたくましい大塚の青少年を育成する。

スローガン

『みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子』

イ 活動内容

- ・地域ふれあいクリーン活動 6月10日(土) 10時00分～11時30分
大塚海岸→小学4～6年生・中学1年生・PTA役員・地域の人
中学校通学路清掃→西斜面 中学2年生 南斜面 中学3年生
13時30分～15時00分 大塚海浜緑地→蒲郡東高校ボランティア
- ・3地区地域ふれあい活動→規模を縮小するなどして、開催予定
- ・子どもたちを守る運動 校外補導 立ち番・巡回
- ・啓発広報活動 健全育成標語・ポスター・意見文を募集する

ウ 令和5年度予算

ふれあい活動推進費 59,000円(負担金58,950円、諸経費50円)

健全育成協議会運営費 30,720円(消耗品費20,720円、通信費10,000円)

⑥ 意見・情報交換

- ＜地域＞ 保護司 人権擁護委員 主任児童委員 更生保護女性会
おおつか児童館 地域学校協働活動推進員
- ＜学校＞ 蒲郡東高校学校長 大塚中校務主任 大塚小校務主任
大塚保育園長 大塚西保育園長

＜地域としての話し合い＞

- ・周りの人たちに無関心にならないことが必要である。また、家族の絆を地域の絆へと広めていけるようにお互いに声かけをしたり気を配ったりして生活をしていくことが大切である。



＜意見交換＞

＜中学校のルールについての話し合い＞

- ・生徒達が考えて、自分たちで今の時代にあったように変えていくことは大切である。また、登下校や行事の時などの大塚中生を見ていると落ち着いていて優しい生徒が多い。今のままのルールでも特に問題はないのではないかとも思う。

⑦ ご挨拶・・・・・・ 鈴木 洋 氏（蒲郡市青少年センター所長）

⑧ お礼の言葉・・・・ 多田 敦 氏（大塚中学校校長）

⑨ 閉会の言葉・・・・ 加藤 英記 氏（相楽町総代）

・4年ぶりの通常開催となった。今年度は初めて、アンケートに記入した自分の意見をもとにそれぞれのグループで話し合った。来年度は、立場ではなく地区ごとでの席順にし、それぞれの地区で話し合い、共通理解を深めていきたい。

3 地域ふれあい活動

- (1) 日 時 6月10日(土) 10時00分～11時30分(小・中) 午後～(蒲郡東高校)
- (2) 会 場 大塚海岸、中学校通学路(大塚中南・西斜面)、大塚海浜緑地
- (3) 参加者 約550名(小中生400名、教職員50名、PTA役員・地域の方々約100名)
- (4) 活動内容

「大塚地区ふれあいクリーン活動」

(大塚海岸・中学校通学路清掃)

4年ぶりに、たくさんの地域の方々が参加しての活動となった。今年度は燃えないゴミを中心に回収した。共に汗を流す中で、自然と地域やPTAの人たちと声をかけあったり手助けをしたりと温かな交流がうまれた。またきれいになった海岸を見て、達成感ときれいな海を守っていこうという気持ちが芽生えた。



<海岸清掃>

<参加児童・生徒の感想>

海岸には、いろいろな種類のゴミが落ちていました。その中には海から流れてきた物や海岸に捨てられた物がありました。そこに住んでいる生き物にとってそれがすごくつらいことだと思います。私は、生き物が嫌な気持ちにならないようにゴミを捨てることは絶対にやめようと思いました。(小6)

海岸をきれいにすることで、地域の人たちとの関わりが増えたり、友達のいいところが見られたりして良かったなと思いました。この経験を生かして、自分が毎日の生活の中でできることを考えてみました。それは、プラスチックゴミを減らすためにマイバックを持ち歩いたり、地域の人たちにあいさつをしたりすることです。(中1)

東大塚地区

日時 9月10日(日)8時30分～12時00分

会場 大塚小学校【参加者 約300名】

テーマ 「町民ふれあい大運動会」

(PTA・中学生模擬店、リレー、玉入れ、ダンス、他)

本年度は、町民大運動会の中で東大塚地区が、全大塚地区を対象にふれあい活動を行った。それぞれの地区対抗のリレーや玉入れなどの競技種目もあり、たくさんのあたたかな声が起こり、盛り上がった。また、中学生が中心となりフランクフルトなど食べ物の模擬店を運営し、全大塚地区の人たちが体を動かしながら、楽しめるさわやかな活動となった。



<模擬店>

<参加児童・生徒の感想>

地域の人たちが、競争やリレーなど自分たちの地区のプライドをかけて真剣に勝負をしました。たくさんの人たちが、声を出して応援してくれてうれしかったです。また、みんなで模擬店の手伝いをしました。小学生や保育園の子達がたくさんきてくれてうれしかったです。地域の人たちの心がひとつとなり一体感が生まれました。(中2)

西大塚地区

日時 8月5日(土)16時00分～21時00分

会場 西大塚区民会館

【参加者 約300名】

テーマ 「ふれあい盆踊り大会」
中学生イベント（輪投げ、風船つり、
ボールすくい等）、小中学校PTA模擬
店、盆踊り他



＜中学生イベント＞

例年のように、「盆踊り大会」が行われた。

16時からの『ちびっこ あつまれ夏祭り！！』では、西大塚の中学生が4つのグループに分かれ、イベントの企画、運営を行った。小さな子ども達がひとつひとつのお店を回り、中学生がPTAの方と協力して楽しませることができた。中学生の参加意識も高く、活気と笑顔あふれる活動となった。

＜参加児童・生徒の感想＞

自分が小学生の頃に、中学生がお店番をしていて、自分もいつかやってみたいと思っていました。いざやってみると、自分で考えて、来てくれた人たちを楽しませなくてはいけなかったので大変でしたが、みんなが笑顔になってうれしかったです。この会を開催してくれた地域の人たちに感謝をしています。ありがとうございました。（中3）

相楽地区

日時 8月5日(土)17時00分～20時00分

会場 相楽生活センター 【参加者 約150名】

テーマ 「夏祭り・親子ふれあい活動」
(模擬店、盆踊り、ビンゴゲーム他)



＜模擬店＞

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために縮小開催となった。相楽町地区は少ない人数ではあるが、PTAと地域の方々がひとつになって、かき氷、焼き鳥、団子などの模擬店を行った。役員の方はそろいのTシャツを作って活動しており、意気さかんであった。地域の方々が模擬店のやり方を生徒に丁寧に説明をし、生徒達も自信を持って楽しそうに参加をしていた。また、地区の多くの方が参加し、にぎやかな活動となっていた。

＜参加児童・生徒の感想＞

たくさんの小さな子達が浴衣を着てうれしそうに参加をしてくれました。自分が作ったかき氷を地域の人たちや子ども達が「おいしいね。ありがとう」と言って食べてくれてすごくうれしかったです。盆踊りも練習に参加してから踊ったので、昔を思い出しながらなんだかなつかしく感じました。（中2）

2 三 谷 地 区

本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」とし、日常的に行うあいさつ運動や防犯を意識した活動に取り組んだ。健全育成協議会準備会及び全体会と地域ふれあい活動については、予定通り開催することができた。

1 健全育成協議会準備会

(1) 日 時 令和 5 年 5 月 11 日 (木) 18 時 00 分～19 時 00 分

(2) 場 所 三谷中学校会議室

(3) 参加者 各区総代、小中学校 PTA 役員、学校関係者 (計 18 名)

2 青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和 5 年 5 月 28 日 (日) 9 時 00 分～10 時 30 分

(2) 場 所 三谷中学校 体育館

(3) 参加者 各区総代、市議会議員、民生・児童委員、主任児童委員、地域補導員
少年補導委員、保護司、公民館長、高砂会、更生保護女性会委員
三谷祭保存会会長、各区保存会会長、小中学校 PTA 役員、PTA 実行委員
子ども会役員、交通指導員、保育園園長、児童館長
地域学校協働活動推進員、小中高等学校関係者 (計 89 名)

〔来賓〕 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
蒲郡警察署生活安全課長 森 匡 司 氏

(4) 内 容

避難所開設担当職員紹介 (紙面での紹介のみ)

市民憲章唱和 (三谷中学校 PTA 副会長 竹内 貴子 氏)

① 開会のことば (総代会副会長 鈴木 正 氏)

② 三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認
会長 松区総代 小田 勝一 氏 はじめ 17 名の承認

③ あいさつ

- 三谷地区青少年健全育成協議会会長 小 田 勝 一 氏
- 蒲郡市青少年センター所長 鈴 木 洋 氏
- 蒲郡警察署生活安全課長 森 匡 司 氏
- 学校代表 三谷中学校長 加 藤 英 雄 氏

④ 地域補導員の紹介と活動 補導班長 小 田 洸 次 氏 (代読)

⑤ 本年度の活動

○ テーマとねらい

テ マ 「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」

重点目標 ・家庭、地域、学校、関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。

・地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。

・あいさつ運動や日常の声かけを通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。

- ・あいさつ運動
- ・三谷ふれあいフェスティバル準備会…6月より開催
- ・三谷ふれあいフェスティバル…11月12日（日）に実施

⑥ 各区分科会と全体報告

⑦ 閉会のことば （主任児童委員 石井 佳子 氏）



あいさつ運動では、本年度もPTA役員を中心に、学校単位で計画される計18回の活動に加え、あいさつを通して日常的に子どもたちとふれあっていくため、大人から地域の子どもたちにあいさつをするよう心がけた。平日の登下校時の見守りとともに、祭礼時の見守りや声かけを行った。あいさつ運動同様、今後も地域住民に重点目標の周知を図り、活動に対する理解を得る必要があると考える。地域全体で子どもたちを見守っていく姿勢を大切にしていきたい。



3 地域ふれあい活動

日 時：令和5年11月12日（日）9時00分～11時15分

会 場：三谷小学校運動場 【参加者350名】

テーマ：「三谷ふれあいフェスティバル」

三谷地区のふれあい活動は、平成30年度より「三谷ふれあいフェスティバル」として6区合同で行っている。総代会を中心に、公民館、小・中学校PTA、子ども会、三谷祭保存会、スポーツ推進委員、消防団から構成される実行委員で話し合い、準備を進めた。例年、区ごとに出場選手を決め、町民運動会を行っていたが、地域住民の要望により、本年度は出場選手をオープン参加で募る形で開催した。

会の初めには、防災活動として、消防団の指導の下、中学生が放水訓練を行った。団員の的確な指示のおかげで、見事に消火訓練ができた。この他、玉入れや綱引きなど、子どもから大人までさまざまな世代の住民が競技に白熱する姿が見られ、地域のつながりの強さをあらためて感じる事ができた。次年度も開催できることを願う。



3 蒲 郡 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 健全育成協議会準備会(学区総代会)

- ①日 時 令和5年4月12日(水) 11時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 図書室
- ③協議事項
- ・前年度の協力費決算報告について
 - ・前年度の協議会・地域ふれあい活動の活動報告について
 - ・本年度の協力費予算案について
 - ・本年度の活動方針・地域ふれあい活動に向けて
 - ・本年度の協議会次第について
- ④出席者 学区各総代、各小中学校の校長・教頭・蒲郡中校務主任(計21人)

(2) 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会

- ①日 時 令和5年5月8日(月) 10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 体育館
- ③内 容
- a 開会の言葉 蒲郡中学校 PTA 会長 伊藤 承章 氏
- b 市民憲章唱和 蒲郡中学校 PTA 副会長 田中 頼子 氏
- c 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会会長あいさつ
- 学区青少年健全育成協議会会長 伊藤 武利 氏
- d 来賓あいさつ 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
- 蒲郡警察署生活安全課長 森 匡司 氏
- e 協議事項
- ア 令和4年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会活動報告ならび決算報告
- イ 令和5年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会基本方針ならび予算案
- ウ 小・中・高等学校における児童生徒の実態と生活指導上の諸問題について
- エ 令和5年度 地域ふれあい活動について
- ・本年度の活動方針ならび今後の予定
 - ・本年度の活動計画または実践報告(各地区総代・公民館館長)
- f 熟議(意見交流)
- ・蒲郡中学区の健全育成
 - 「地域・学校で育てたい子ども」について
- g 閉会のことば 蒲郡中学校長 岡田 敏宏 氏
- ④参加者

蒲郡警察生活安全課長、市議会議員、青少年センター所長、人権擁護委員
各区総代、保護司、公民館館長・主事、民生・児童委員、少年補導委員
更生保護女性会、地域補導員、小中 PTA 役員、保育園園長
地域学校協働活動推進員、各小中高・学校関係者 (計92名)

本年度は、コロナ感染症が心配されたが予防対策を徹底し、例年通りの規模で本会を開催した。会の冒頭で令和5年度の蒲郡中学校区健全育成協議会会長に、府相区の伊藤武利氏が選出された。協議では、生きる力を身につけた子どもを育成していくために、青少年を健全に導くことを主眼とし、家庭・学校・地域の大人が

- ・地域の子どもたちを知る
- ・地域の子どもたちとあいさつをする
- ・地域の子どもたちのよい点をほめ、よくない点は注意する
- ・地域を知らせ、自分の故郷に愛着を感じさせる
- ・地域で子どもたちを守る

とする活動方針が承認された。

本年度は「地域・学校で育てたい子ども」というテーマで熟議（意見交流）の時間を設けた。蒲郡中学区にかかわる地域のリーダーの方々と子どもたちの育ちについて語り合えたことは、「チーム蒲中学区づくり」にとって価値ある時間となった。熟議では以下のような意見が出された。

地域・学校で育てたい子どもの姿

- ・自分の考えや意見をしっかりもてる子
- ・夢をもって挑戦できる子
- ・思いやりのある子
- ・仲間と協働できる子
- ・自分も仲間も大切にできる子
- ・自分が生活している蒲郡や地域を愛する子
- ・人との繋がりを大切にできる子
- ・自分の住んでいる身近な地域（社会）をよりよくしたいと行動できる子

また、熟議では育てたい子どもの姿を願うだけでなく、大人が何ができるか、どんな大人であるべきかということも話題に出された。

- ・地域の子どもたちに積極的に声をかけたい
- ・挨拶のできる地域の大人になる
- ・子どもが参加できる公民館活動をたくさん用意する
- ・笑顔で子どもにかかわる
- ・子どもたちが憧れる魅力ある地域の大人になる

蒲郡中学区青少年健全育成協議会に参加していただいたすべての方が学区・地域づくりに対して、めざす子どもの姿や自分ができることは何かを真剣に考えていただく貴重な機会となった。

2 「地域ふれあい活動」日程

地区名	日 時	場 所	活 動 内 容
蒲郡西区	5/14(日)	蒲郡公民館～ 上ノ郷城	健康づくり 「レク・歩こう大会」
港区・栄町	5/28(日)	港町西公園	駅・公園の周辺の清掃活動
小江町 港区	8/8(火) 8/9(水)	勤労福祉会館	盆踊り大会
蒲郡東 新井形町	11/5(日)	各避難場所～ 蒲郡中体育館	自主防災訓練
府相区	9/24(日)	竹島小運動場	府相区体育祭
豊岡町1・2区 五井町 平田町	9/24(日)	蒲郡東部小学校 運動場	東部地区民体育祭
三谷西区	11/6(日)	神明神社 三谷小学校運動場	自主防災訓練 三谷ふれあいフェスティバル

3 各地区「地域ふれあい活動」

本年度のふれあい活動は、コロナウィルス感染症による制限がないなかで行われた。4年ぶりの開催となったため、規模を拡大した活動に不安もあったが、地域の方のご尽力により、多くの人たちが集まり、笑顔と会話があふれる活動となった。

蒲 郡 西

日 時 5月8日(日) 9時00分～10時30分

会 場 蒲郡公民館～上ノ郷城 【参加者 約50名】

テーマ 「地域での『ふれあい』と『つながり』を大切に」



<兼京川から上ノ郷城を望む>

本年度も「蒲郡の歴史学び」と「ウォーキング」を兼ねた活動を行った。NHK大河ドラマ「どうする家康」で取り上げられた上ノ郷城を中心に、赤日子神社、正行院、鶴殿長照墓碑を巡った。西部公民館では蒲郡西部小6年生の歴史学習のまとめや上ノ郷城のジオラマなど見て、蒲郡の歴史に対する見識を深めることができた。運営の方の安全なルート案内のおかげで、

最後まで安心して歩くことができた。

港 区・栄 町

日 時 5月29日(日) 9時00分～10時00分

会 場 港町西公園 【参加者 約70名】

テーマ 「駅周辺・公園内の清掃美化」

本年度は港町西公園、竹島埠頭、蒲郡駅周辺の草取り・清掃活動を行った。清掃活動ではごみ拾いをしながら、地域の人たちと体育大会を話題に話をする生徒もいた。自分たちの住むまちを自分たちできれいにする活動を通して、地域の人たちとふれあうことのできる貴重な機会となった。また、参加者が大幅に増えたため小中学生と地域住民とのつながりも増え、地域の輪を広げる活動となった。



<まちを歩きながらの清掃活動>

- ・清掃活動を通して、地域の人とあいさつができた、お話をしたりすることができました。地域の人とのつながりを感じるとともに、こういった地域の活動はたくさんの人たちによってつくり上げられていることがわかりました。(蒲郡中 男子)

小江町・港区

日 時 8月8日(火) ※9日(水)は悪天候のため中止

会 場 勤労福祉会館 【参加者約400人】

テーマ 「盆踊り大会」

本年度は4年ぶりの盆踊り大会の開催となった。当日、子どもたちは地域の人たちと輪になっていっしょに盆踊りをした。中学生は風船つりや輪投げの係なども担い、小さな子の目を見て、笑顔で声をかけながら接客をすることができた。運営の方々がより多くの人に参加してもらうための企画を考えて準備していただいたことで、会場にはたくさんの方が集まった。笑顔があふれ、あたたかな雰囲気を感ぜられる活動となった。



＜やさしくていねいに接客をする中学生＞

- ・盆踊り大会に参加できてすごく良かったです。理由は積極的に自分から動き、人とかかわる場面がたくさんあったからです。自分から接客をしたり、小さな子に話しかけたりすることができて、人見知りの私にとって成長できる機会となりました。（蒲郡中 女子）
- ・当日私は盆踊り担当として、小さな子どもからお年寄りまで様々な方とお話をしながら、楽しく踊ることができました。地域の人たちとかかわるなかで、地域のあたたかさを感じることができました。（蒲郡中 女子）

東 部 地 区

豊岡第一、豊岡第二、五井、平田

日 時 9月24日（日）9時00分 ～ 12時30分

会 場 蒲郡東部小学校運動場【参加者 約300名】

テーマ 「東部地区民体育祭」

本年度は、4年ぶりに地区民体育祭を開催することができた。中学3年生は事前の準備会にも参加をしたり、当日はアナウンスや器具等の係として体育祭を支えたりした。自分たちで考えた障害物リレーでは、仲間と笑顔でふれあうことができた。また、あたたかな声援を送る地域の人たちの姿からは、子どもたちが地域に見守られながら過ごしていることを再認識することができた。



＜障害物リレーに参加する生徒＞

府 相 区

日 時 9月24日（日）9時00分 ～ 12時30分

会 場 竹島小学校運動場【参加者 約300名】

テーマ 「府相区体育祭」

本年度は、4年ぶりに地区体育祭を開催することができた。当日は晴天のもと、たくさんの地域の人たちが参加した。一生懸命競技に参加する人、それを応援する人、友人と話をする人など、体育祭を通してたくさんの笑顔と会話が生まれていた。中学生は競技係、器具係、接待係、放送係、賞品係として地域の人と協力して、体育祭の準備や当日の運営という貴重な経験をすることができた。



＜園児に参加賞を手渡す中学生＞

- ・夏休みからこの日のことを考え準備してきました。当日僕は競技係でしたが、園児や小学生が楽しんでいるところを見て、笑顔になることができました。体育祭は大成功だったと思います。（蒲郡中 男子）
- ・体育祭に参加してみて、この日に向けて地域の人が計画を細かく考えてくれたり、競技中にサポートをしてくれたりしていることを感じました。参加した人たちがお互いに支え合う姿を、たくさん見つけることができました。（蒲郡中 女子）

蒲郡東・新井形町

日 時 11月5日(日) 9時00分～11時30分
会 場 各避難場所→蒲郡中学校【参加者 約70名】
テーマ 「自主防災訓練」

本年度は、昨年度同様、地区の「自主防災訓練」と合わせて、中学生が総合的な学習の時間で追究してきた防災学習の内容を発表し、地域の人からアドバイスや感想をもらった。地域の人と一緒に「DIG(災害図上訓練)」を行ったり、自然還元型トイレの位置の確認や災害用のテントやベッドを組み立てたりした。地域と学校が災害時の対応について一緒に考える貴重な機会となった。



<地域の人と一緒に DIG をする
中学生>

- ・地域の人や先輩たちといっしょに活動できたことが、とてもよい経験、機会になりました。私たちの発表を相づちを打って聞いてくれたり、新しい視点でアドバイスをしてくれたりしたので、これからの防災学習に生かしたいです。(蒲郡中 女子)
- ・防災訓練に参加して、僕は地域の人とのつながりが大事だと思いました。何かあったとき、協力し助け合えるのは地域の人しかいないからです。これからもこういった地域の人との活動に積極的に参加していきたいと思いました。(蒲郡中 男子)

三 谷 西 区

日 時 11月12日(日) 7時50分～12時30分
会 場 神明神社～三谷小学校 【参加者 約300人】
テーマ 「自主防災訓練 三谷ふれあいフェスティバル」



<三谷ふれあいフェスティバル開会式>

本年度も昨年度と同様に、市民総ぐるみ防災訓練と「三谷ふれあいフェスティバル」を開催することができた。朝、神明神社にて自主防災訓練を行い、その後、三谷小学校まで徒歩で集団避難訓練をしながら集合した。消防団種目では、県消防操法大会で優勝した消防団メンバーによる放水訓練が行われた。消防団の正確かつ迅速な動きや連携に、地域の人たちは見入っていた。

4 まとめ

本年度は、多くの総代区で4年ぶりにコロナ禍以前のかたちでふれあい活動が行われました。活動の規模拡大により、地域の方々には多くの時間や労力を費やしご協力いただいたことに感謝を申し上げます。多くの方々のご尽力のおかげで、人と人のかかわりあいやつながりが生まれました。そして、これからの蒲郡の未来を担う子どもたちが地域に目を向け、地域のよさを改めて実感できる機会となりました。来年度もまた、地域とともに子どもたちを育てる活動を模索していきたいと思ひます。

4 中 部 地 区

1 中部中学校区青少年健全育成協議会

- (1) 日 時 令和5年5月10日(水) 9時00分～11時00分
- (2) 場 所 中部中学校 図書室
- (3) 内 容

- ① 市民憲章唱和 (先唱 蒲郡北部小学校 校務主任)
- ② 開会の言葉
- ③ 学区校長あいさつ (中部中学校長)
- ④ 令和5年度協議会会長、副会長の承認について
- ⑤ 令和5年度協議会会長あいさつ (吉光町総代 細井 政雄 氏)
- ⑥ 来賓あいさつ (蒲郡警察署生活安全課長 森 匡司 氏)
(青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
- ⑦ 協議
 - ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
 - ・令和5年度「地域ふれあい活動」について

(4) 参加者<82名>

学区総代、学区市議会議員、民生・児童委員、
地域補導員、保護司、更生保護女性会、
少年補導委員、主任児童委員、人権擁護委員、PTA
会長、PTA 関係部長、公民館長、子ども会会長
学校長、校務主任、中部中学生徒指導主事



<全体協議会の様子>

コロナ禍も落ち着き、4年ぶりの開催となった。
手探りであったが、各学区の様子について報告
し合い、ふれあい活動の案についても、熱心な協議を行うことができた。

2 中部中学校区青少年健全育成協議会運営委員会(地域ふれあい活動反省会)

- (1) 日 時 令和5年11月7日(火) 10時00分～11時15分
- (2) 場 所 中部中学校 響・図書室
- (3) 内 容

- ① 協議会会長あいさつ (吉光町総代 細井 政雄 氏)
- ② 来賓あいさつ (青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
- ③ 協議
 - ・児童生徒の様子について
 - ・問題となる遊び場、たまり場、危険箇所について
 - ・令和5年度ふれあい活動の反省

(4) 参加者<35名>

学区総代、学区市議会議員、民生・児童委員代表、
保護司代表、主任児童委員代表、更生保護女性会代表、
公民館長、子ども会会長、PTA 会長、PTA 関係部長、
保護司代表、学校長、校務主任



<地区協議会の様子>

児童生徒について、全体的には「あいさつがよくでき、
のびのびと生活できている」「地域の活動でも大人とのか
かわりに抵抗なく動いてくれる」といった報告が各地区

で出された。一方で、行事や集団生活になじめない児童生徒への支援、西部小児童が小規模校から中学校へ入学して「中1ギャップ」を乗り越える大変さなど、各校・学区が抱える問題についても多くの意見が出された。

ふれあい活動については「地域とのかかわりができた」「中学生がよく動いて助けてくれた」「よりよい運営の仕方を検討したい」など、概ね前向きな反省・感想が多かった。課題として、子ども会役員に協力を依頼するが、その役員決定に苦労していること、習い事との兼ね合いが難しいことなど、「地域で子どもを育てる」ことの難しさが挙げられた。

総代会・学校・子ども会・家庭の地域連携が、今後も一層大切になると思われる。

3 各地区のふれあい活動

神ノ郷町総代区

日 時 5月20日(土) 13時00分～15時30分
会 場 蒲郡西部小学校運動場【参加者約600名】
テーマ 「西部地区体育祭」

西部学区在住の児童生徒が選手として出場したり、中学生は競技役員として体育祭の運営に参加したりした。幼児から高齢者の方まで幅広い年代が参加し、交流を深める機会となった。

大人・子ども関係なく一致団結してみんなが頑張り、全力を尽くしました。西部地区は固い絆で結ばれていることがわかりました。これからもそれを守っていきたいです。(中1男子)



<西部地区体育祭>

坂本町総代区

日 時 6月4日(日) 13時30分～16時00分
会 場 中央公園グラウンド【参加者約80名】
テーマ 「グラウンドゴルフ大会」

毎年、地区の方々と小中学生の貴重な交流の場となっていたグラウンドゴルフであったが、ようやく、例年通り開催することができた。天気も大変良く、和気あいあいとした中で楽しくプレーする姿が見られた。

今回みたいな活動がないと、同じ坂本町でも話すことがないので参加してよかったです。来年も開催されればまた行きたいです。交流を深めていくために、これからもあいさつを大切にしたいです。(中1女子)



<グラウンドゴルフ>

中央小学区 吉光・栄町・蒲形・小江 蒲郡西・宮成 総代区

日 時 8月4、5日(金、土) 19時00分～21時00分
会 場 中央小学校グラウンド【参加者約500名】
テーマ 「盆踊り」

夏休みのお盆前、2日間にわたって中央小学校運動場にて開催。総代の方々を中心に、地域の方が児童生徒を明るく盛り上げてくださった。子どもたちが踊りやすいようにと、選曲から工夫を凝らし、ビンゴ大会を行うなど、楽しく参加できるように運営されていた。



<盆踊り>

中央小学区
吉光・栄町・蒲形・小江
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 9月3日(日) 8時00分～8時30分
会 場 中央小学校グラウンド【参加者約200名】
テーマ 「草刈り・ごみ拾い」

夏休み明けの日曜であったが、多くの地域の方々、学校職員、児童生徒が参加。残念ながら WBGT 値の上昇により 30 分程度の活動になり、中学生からも日程について改善の意見が挙がったが、短時間で多くの草をとり、ごみを集めることができた。

私たち 3 年生は 6 年生の卒業時、コロナの影響で奉仕作業を行うことができませんでした。だから、今回母校の中央小に感謝を込めて清掃活動ができて本当に良かったです。(中 3 女子)



<中央小周辺の草取り>

清田町総代区

日 時 9月10日(日) 9時00分～11時30分
会 場 蒲郡北部小学校体育館・運動場【参加者約100名】
テーマ 「自主防災訓練」

常会ごとにごみ拾いをしながら北部小へ集合、消防団の放水見学、仮設テントやトイレの設置体験、AED の使い方などの講習など、様々な工夫を凝らして行われ、児童生徒も興味をもって参加することができた。

ごみ拾いの時から地域の方が優しくしてくれて嬉しかったです。消防団の方は動きがとても素早いなと感心しました。防災のことも学べて良かったです。(中 3 男子)



<仮設テント設置体験>

水竹町総代区

日 時 10月15日(日) 9時00分～12時00分
会 場 蒲郡北部小学校体育館【参加者約70名】
テーマ 「スポーツレクリエーション」

北部小体育館にて、水竹町を中心に開催された。玉入れ、スプーンリレー、グラウンドゴルフなど、簡単に行える多くの競技が用意され、老若男女問わず楽しむことができていた。たくさんさんの「お土産」にも、児童生徒はとても喜んだ様子だった。



<玉入れ>

水竹町総代区

日 時 11月5日(日) 9時00分～11時30分
会 場 中部中学校他【参加者約150名】
テーマ 「自主防災訓練」

中部中にて、消火体験、仮設テント・ベッドの設置、消防隊員の方によるけが人への対応、非常時のロープの結び方など、多岐にわたって防災について学ぶことができた。

地域の方から「動きが良いね」とあたたかい言葉をいただき、嬉しかったです。これからも、中部中生の明るく元気で礼儀正しい、美しい姿を見ていただけるよう、日常生活を向上させていきたいです。(中 3 男子)



<体育館での活動の様子>

5 塩 津 地 区

本年度の塩津地区青少年健全育成協議会のテーマを「～みんなして 声かけあって 育てよう～ 市民ぐるみの『青少年健全育成地域活動』」とし、日常的な青少年への声かけ運動や地域の見回りなどに取り組んだ。

本年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられたことにより、様々な活動が以前の形へと戻り始めた年となった。塩津地区の青少年健全育成協議会も、第 1 回・第 2 回ともに来賓を招いて対面で実施することができた。

1 第 1 回青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和 5 年 5 月 6 日(土) 13 時 30 分～15 時 00 分

(2) 場 所 塩津中学校 体育館他

(3) 内 容

- | | | |
|------------------------|-----------------|-----------------|
| ○市民憲章唱和 | | 塩 津 中 PTA 副 会 長 |
| ○あいさつ | ・ 塩津地区健全育成協議会会長 | 近 藤 豊 氏 |
| | ・ 蒲郡市青少年センター所長 | 鈴 木 洋 氏 |
| | ・ 蒲郡市議員 | 新 實 祥 悟 氏 |
| | | 千 賀 充 能 氏 |
| ○情報交換 | ・ 蒲郡警察署生活安全課長 | 森 匡 司 氏 |
| | ・ 地区補導員班長 | 天 野 孝 行 氏 |
| | ・ 塩津小学校の様子 | 小 田 大 悟 氏 |
| | ・ 塩津中学校の様子 | 藤 田 正 和 氏 |
| ○協 議 | | |
| ① 塩津地区青少年健全育成協議会規約について | | |
| ② 地区協議会【進行 地区代表】 | | |
| | ・ 自己紹介 | ・ 最近の児童・生徒の姿 |
| | ・ 問題になる遊び場・危険箇所 | ・ 地域ふれあい活動 |
| ③ 全体協議会 | | |
| | ・ 各地区協議会の発表 | ・ 全体質疑 |
| ○閉会あいさつ・塩津公民館長 | | 牧 野 満 文 氏 |

2 第 2 回青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和 5 年 10 月 12 日(木) 13 時 30 分～15 時 30 分

(2) 場 所 塩津小学校 体育館

(3) 内 容

- | | |
|---------|-----------------|
| ○市民憲章唱和 | 塩 津 小 PTA 副 会 長 |
|---------|-----------------|

○あいさつ	・塩津地区健全育成協議会会長	近 藤 豊 氏
	・蒲郡市青少年センター所長	鈴 木 洋 氏
	・蒲郡市会議員	千 賀 充 能 氏
○情報交換	・蒲郡警察署生活安全課長	森 匡 司 氏
	・地区補導員班長	天 野 孝 行 氏
	・塩津小学校の様子	小 田 大 悟 氏
	・塩津中学校の様子	藤 田 正 和 氏

○協 議

① 地区協議会【進行 地区代表】

- ・自己紹介
- ・最近の児童・生徒の姿
- ・問題になる遊び場・危険個所・地域ふれあい活動

② 全体協議会

- ・各地区協議会の発表
- ・全体質疑

○閉会あいさつ・塩津公民館長 牧 野 満 文 氏

【第1回参加者（81名） 第2回参加者（70名）】

各区総代、地区市議会議員、地区常会長、蒲郡警察署生活安全課長

蒲郡市役所交通防犯課長、人権擁護委員、更生保護女性会、地域補導員、保護司

民生・児童委員、主任児童委員、各区祭り保存会、健全育成担当区議員、少年補導委員

塩津公民館長、塩津公民館主事、塩津保育園園長、鹿島こども園園長、しおつ児童館長

子ども会役員、小中学校 PTA 役員、蒲郡市青少年センター所長、地域学校協働活動推進員、小中学校関係者

【最近の児童・生徒の姿】

- ・塩津の子は学校では挨拶ができる。地区では、大人からの挨拶も重要。子どもからの挨拶の強要は難しい。
- ・交通ルールは守られている。
- ・資源ゴミを親子で出しに来る家庭があり、子どもが資源ゴミの分別を知る機会となっていてよいと思う。
- ・川遊びは心配なので、複数人で注意し合うようにする。
- ・コロナ禍が過ぎて、子どもたちが元気になって良かった。子どもの声が聞こえると町も元気になる。



<地区協議会>



<全体協議会>

3 地域ふれあい活動

西 迫

日 時 5月27日(日) 9時00分～10時30分
会 場 西迫児童公園 【参加者約45名】
テーマ ふれあいミニ運動会

例年、桜の馬場の草刈りを行ってきたが、本年度より、西迫児童公園でのミニ運動会に変更した。小学生・中学生・地域の方々の混合チームで、レクリエーション的な競技を企画することにより、年齢を問わず楽しむことができた。それぞれのチームで協力して、参加できた。



【ふれあい活動感想文より】

今までは草刈りだったけど、今年はミニ運動会でした。

おたまでピンポン玉リレー、ひっくり返しゲーム、長縄をしました。小さい子どもから大人まで、みんな笑顔ですごく楽しんでいました。地域の人たちといっしょに体を動かすことができて、最高に楽しいふれあい活動になりました。

(小6 女子)

今までは草刈りだけだったけど、今回はミニ運動会で、すごく新鮮な気持ちで体を動かしたり仲間と協力したりすることができました。今年、小学校に入学した新1年生も加わって、いろいろな年齢の人と関わったり、仲よく協力できたりするから、ふれあい活動はとても大切だと気付きました。このふれあい活動に参加してやっぱり西迫は最高だなと思いました。参加して良かったです！(中1女子)



<活動の様子>

柏 原

日 時 6月18日(日) 9時30分～11時00分
会 場 柏原公民館・スポーツ広場 【参加者69名】
テーマ 『知ろう防災・やろう訓練』&『みんなで遊ぼうGG』

町内の『グラウンドゴルフ愛好会』の方が中心となり、スポーツ広場にて、小・中学生、保護者、地域の方々、愛好会メンバーが一体となってグラウンドゴルフを楽しんだ。今年は4年ぶりに町内にある老人ホーム「なごみの郷」からも入所者の参加を迎え、一緒に行うことができた。スポーツ広場では、解放感からか、いつにも増した大きな声が出ており、広場いっぱい人が満ちた姿は活気にあふれていた。

【ふれあい活動感想文より】

火事の時に一人で部屋にいたら、ドアノブが熱くなってないか確認してから、そっと開けて低い姿勢で避難することが分かりました。ドアノブが熱い場合は、ドアの隙間を埋め、救助が来たら、大きな声で壁をたたいて知らせることも分かりました。消火は火が人の身長までになったら、あきらめて逃げることも教わりました。グラウンドゴルフはいい雰囲気でした。友達に負けて悔しかったです。(小5 女子)

このふれあい活動では、火災がなぜ起きるのか、もし起きたらどのような行動をするのか、消火器はどのように使うのかを学びました。火災は「火種」「原因となるもの」「酸素」この3つがそろって起きてしまうことが分かりました。花火などをしていて、もし自分に火が燃え移ってしまったら、その場で止まり、手で顔をおおいながら転がり、3つのうちの「酸素」をなくせばよいことを教わりました。そうならないのが一番だけど、もし火災にあったら、落ち着いて今日習ったことを実践して身を守りたいです。(中3 男子)



<活動の様子>

奥 林

日 時 6月4日(日) 10時00分～11時30分
 会 場 奥林公民館 【参加者 43名】
 テーマ 応急手当入門と消火訓練

蒲郡市なんでも出前講座を活用し、心肺蘇生及びAEDの取り扱いを学んだ。4つの班に分かれて(1班当たり10人前後)それぞれ消防の方を講師として人形を使った、心肺蘇生の訓練を行った。また、同じくAEDの機器を用いて動作確認の方法を学んだ。水消火器を用いて標的に向け噴出し、消火器での初期消火を体験した。



【ふれあい活動感想文より】

胸骨圧迫やAEDの使い方を教えてもらいました。たとえ、胸骨が折れても、命を救う方が大切だから、胸骨圧迫を続けなさいといけなことが分かりました。また、AEDは心臓を挟むようにすることが大切だと教わりました。実際に体験して、周りに人がいると、感電するかもしれないということが分かり、とても勉強になりました。(小6 女子)

ぼくは、ふれあい活動に参加してとても良い経験ができたと思います。万が一、倒れている人と出会ったときに、どうやって対処すればよいか分かりました。今日教えてもらったAEDの使い方や胸骨圧迫を、いざというときに活用できればいいなと思います。本当に良い会をありがとうございました。(中3 男子)



<活動の様子>

竹谷町区

日 時 8月13日(日) 18時00分～20時00分
 会 場 油井児童遊園地 【参加者約150名】
 テーマ 盆踊り大会

台風接近のため14日は中止

コロナウイルス感染症対策のため3年間開催できなかったのですが、今年は4年ぶりの開催となった。残念ながら台風7号の接近により、14日は中止とし、13日も時間を短縮して行った。過去に経験した役員が少なく、手探りでの運営となったが、模擬店・盆踊りともに盛り上がる事ができた。



【ふれあい活動感想文より】

はじめは人が少なかったけど、どんどん増えていきました。友達も来て、盛り上がりました。ポップコーン、焼きもち、かき氷など、おいしいものがたくさんありました。最後は、盆踊りもみんなで踊って、楽しい時間でした。地域の仲も深まり、最高の1日でした。(小6 女子)

竹谷まつりは出店のかき氷やみたらし団子、ポップコーンなどがあつたり地域の方々が盆踊りをしたり、とても賑やかで充実した時間でした。私が今回の祭りでは一番心に残っていることは、竹谷に住んでいる方全員でこの竹谷まつりを楽しめたことです。小さな子からお年寄りまで、全員が踊ったりお話ししたりしながら、わいわいと楽しんでいる様子が、とても良いなとほっこりしました。そんな竹谷まつりのお手伝いは、たくさんの方と関わることができたのでとても楽しかったです！これからも地域の方々との関わりを大切にしていきたいなと思いました。そして、竹谷という地域の温かさを、もっとたくさんの人に知ってもらいたいなと思いました。(中3 女子)



<活動の様子>

鹿島東

日 時 8月6日(日) 17時00分～21時30分

会 場 ちびっ子広場

コロナ感染拡大防止のため中止

テーマ ふれあい納涼祭り

コロナ感染症対策をして実施できるよう、模擬店・抽選会などの催しを考えて、盆踊りを計画した。しかし、直前に蒲郡市でコロナが流行してしまい、感染拡大防止ということで、残念ながら中止とした。この行事は、子どもたちの健全育成を願う「ふれあい活動」を兼ねた行事の一つとして、重要な行事ととらえている。来年度はぜひ開催したい。



<R4年度の活動の様子>

【令和4年度】

暑い中、皆で頑張って草運びに取り組んでいて、とても良かったです。疲れたけど、良い汗を流せたと思います。コロナ感染症が治まって、また祭りができるような生活に戻ってほしいと思います。僕が大人になったとき、地域の活動に積極的に関わろうと思います。(中3 男子)

【令和元年度】

この行事を通して、お金の受け渡しなどで地域の人と積極的に関わることができました。団子などを焼いたりすることはとても大変で、働くことがとても大変だと実感できました。また、後輩たちとコミュニケーションをとり、仲を深めることができました。この行事を通して、人と関わることの大切さを知りました。だから、これからも人たくさん関わっていけるよう頑張っていきたいです。(中3 男子)



<R元年度の活動の様子>

松 田

日 時 8月10日(木) 17時30分～18時30分

19時30分～21時00分

会 場 松田スポーツ広場 【参加者 約100名】

テーマ 納涼祭り

昨年度はコロナウイルス感染症の流行拡大防止のため行えなかったが、今年度は松田スポーツ広場にてふれあい活動を実施することができた。風船釣り、輪投げ、お菓子のつかみ取り、花火などを企画した。あと、この会の後には盆踊りも実施した。松田地区の住民の方々の親睦を深めることができた。



【ふれあい活動感想文より】

ふれあい活動は、ヨーヨーや輪投げなど大人も子どもも楽しめるような遊びばかりでした。盆踊りの後に食べたかき氷は最高でした。地域のみんなで楽しい時間を過ごすことができて、とてもうれしかったです。(小6 男子)

久しぶりのふれあい活動で、小学校1年生から中学校3年生までみんなたのしく参加できていました。小中学生だけでなく、小さい子も楽しんでいました。輪投げや風船釣りなどのゲームは僕たち中学生もサポートでお手伝いできました。みんなたくさんのおもちゃがとれて喜んでいました。とても楽しいふれあい活動でした。

(中2 男子)



<活動の様子>

鹿島南

日 時 8月11日(金) 17時00分～21時00分
会 場 鹿島児童公園【参加者 約200名】
テーマ 納涼盆踊り

納涼盆踊り大会は、毎年8月のお盆の時期に鹿島南常会青少年健全育成協議会が中心となって行っている恒例の行事である。今年は4年ぶりに納涼盆踊りを実施することができた。輪投げ、じゃんけん大会、盆踊りなど、楽しんで頂けるようにと、メンバーが一丸となり一生懸命準備をした結果、地域の方の交流を深めることができた。



【ふれあい活動感想文より】

何年間かできなくて、久しぶりにいろいろな人と交流できて、とても楽しかったです。近所の人たちが楽しそうに話しているのを見て、こういう会があってよかったなと思いました。かき氷がふわふわでおいしかったです。

(小6 女子)

曲紹介の仕事は私しかなくて、不安な気持ちでいっぱいでした。最初はすごく緊張しましたが、地域ふれあい活動のスタッフの方がとても優しく、徐々に緊張が解けていきました。仕事をしている私にフランクフルトなどを持ってきてくださったり、話しかけてくださったり、やることを丁寧に何度も教えてくださったりしました。ふれあい活動が終わった後に、一人の方が「お疲れ様」と声をかけてくれ、やってよかったなと思いました。2時間という時間もあっという間でした。ふだん、なかなか地域の方とのふれあう機会がないので、こういったふれあい活動は大事だと思います。地域のやさしさと温かみを感じることができるので、これからも続けていってほしいと思いました。そして、もっと地域を大切にしていきたいです。(中3 女子)



<活動の様子>

拾 石

日 時 8月12日(土) 13日(日) 14日(月)
19時00分～21時00分
会 場 拾石町スポーツ広場 【参加者 約1,000名】
テーマ 夏祭り納涼盆踊り大会

今年度はコロナが5類へ移行したこともあり、大々的に活動することができた。小中学生へも参加を呼びかけて、各自楽しんでもらうことはもちろん、やれる中学生には子ども会での輪投げや、くじ引き、拾石会のかき氷提供、区議員のジュース提供などをお手伝いしてもらった。参加者も多く、とても盛況だったので、慌ただしい中、お手伝いをしてくれた子どもたちが、自ら考え動く姿を見て、とても頼もしく感じた。参加者は年齢性別問わず外国の方も多く、地域で活動して触れ合うことで、子どもたちも成長し、すばらしい活動になった。今後もぜひ続けて、子が親になり自分の子連れて来たいと思ってくれると良いと願う。



【ふれあい活動感想文より】

子ども会の輪投げの手伝いをしました。低学年の子たちが楽しめるように、すばやく輪っかを拾うことを心がけました。最終日はとてもたくさんの方が来ていました。雨でしたが、抽選会をやリ、盛り上がりました。友達が一等賞を当てて、喜んでいました。とても楽しかったです。(小6 女子)

中学生は輪投げやくじ引き、屋台のお手伝いなどがありました。屋台で飲み物を注ぐ仕事を任されました。たくさんの方がいましたが、友達といっしょにできて楽しかったです。(中3 男子)

<活動の様子>

川 東

日 時 8月12日(土) 18時00分～19時30分
 会 場 川東児童公園 【参加者 約200名】
 テーマ ふれあいまつり

今年度は、コロナ感染症が5類となり、4年ぶりにふれあいまつりを開催することができた。小さな子どもを連れた家族連れから高齢の方まで、幅広い年齢層の方に大勢参加していただき、大賑わいで盆踊りを楽しむことができた。みたらしだんご、輪投げ、ストラックナイン、盆踊りを計画し、中学生に会場準備や模擬店のお手伝いをしてもらった。川東区在住のみなさんの交流を深めることができた。



【ふれあい活動感想文より】

盆踊りやお祭りは4年ぶりだったけど、昔の屋台が全然変わってなくて、とても良かったです。盆踊りも踊り方は忘れかけていたけど、思い出して踊ることができて良かったです。みんなに会って、かき氷や綿菓子を食べたり、ヨーヨーを釣ったりできたのも楽しかったです。みたらしだんごを焼いているお父さんを見るのも新鮮でした。来年も参加して、手伝いをがんばりたいです。(小6 女子)

今までコロナ禍で開催できなかった地区のお祭りが今年はできて、すごく盛り上がることができました。ふれあいまつりで、私はかき氷を作る担当でした。自分たちが作ったかき氷を、たくさんの人に食べてもらえてうれしかったです。みんなのために働くことができたことも、やりがいを感じました。楽しかったです。川東の地域の方々と協力して、ふれあいまつりができて良かったです。(中3 女子)



〈活動の様子〉

令和5年度塩津地区 地域ふれあい活動一覧予定(実施日順)

月日(曜)時間	地区	内容	場所
5月27日(土) 9:00～10:30	西迫	ふれあいミニ運動会	西迫児童公園
5月28日(日) 8:00～11:00	松田	530運動+自主防災訓練	常会内一帯 松田スポーツ広場
6月4日(日) 10:00～11:30	奥林	応急手当入門と消火訓練 消防隊員によるAED、心肺蘇生など 訓練…消火器での初期消火体験	奥林公民館
6月18日(日) 9:30～11:30	柏原	『知ろう防災・やろう訓練』&『みんなで遊ぼうGG』 ①防災対策・消防職員による防災講習及び訓練 ②グラウンドゴルフ	柏原町公民館 スポーツ広場
7月15日(土) 17:00～19:00 16日(日) 12:00～15:45	拾石	夏祭り(式典、チャラポコ、かき氷・だんご等)	拾石神社
8月5日(土) 14:00～20:30	鹿島東	ふれあい納涼祭り(模擬店・抽選会等) ※小中学生のお手伝いは17:00～19:00の予定 →中止	ちびっ子広場
8月10日(木) 17:30～18:30	松田	ミニ集会(風船釣り、輪投げ、お菓子つかみ取り等)	松田スポーツ広場
8月11日(金) 17:00～19:30	川東	ふれあい屋台村&盆踊り大会 ・屋外での活動 ・中学生はテント立てなどの仕事をする	川東児童公園
8月12日(土)～14日(月) 19:00～20:00	拾石	盆踊り(輪投げなどの遊び、フランクフルト等、くじ引き)	拾石町 スポーツ広場
8月13日(日)～14日(月) 19:00～20:00	竹谷町 区	竹谷町区盆踊り大会 →台風接近のため14日中止 児童・生徒と大人たちとのふれあい輪踊り 中学生による団子焼き・かき氷などの接待	油井 児童遊園地
10月14日(土)～15日(日) 9:00～10:30	拾石	秋祭り(式典、餅投げ、チャラポコ、かき氷・だんご等)	拾石町 スポーツ広場

6 形 原 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成協議会準備会

- ① 日 時 令和 5 年 4 月 8 日（土） 10 時 00 分～
- ② 場 所 形原中学校 多目的室
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長
各小中学校の令和 5 年度 PTA 役員予定者（会長）
各小中学校の校長・校務主任（計 20 名）
- ④ 協議事項
 - ・本年度の健全育成協議会の開催日時とテーマについて
 - ・本年度の活動方針、健全育成の今後について
 - ・地区ふれあい活動の運営について
→小中学校にて、9 月～11 月に清掃活動に決定
 - ・小中学校の状況報告について

(2) 青少年健全育成協議会全体会

- ① 日 時 令和 5 年 5 月 13 日（土）10 時 00 分～
- ② 場 所 形原中学校 武道場
- ③ 参加者 市議会議員、教育委員、学区総代、鹿川町内会長、鹿島北常会長、
保護司、少年補導委員、民生・児童委員、地区補導員、人権擁護委
員、更生保護女性会、小中 PTA 代表、各小中学校の校長・校務主任、
中学校生徒指導主事、保育園長、形原おやじの会会長（計 66 名）
- ④ 内容
 - ・開会の言葉 形原総代会副会長 岩瀬 安正 氏
 - ・主催者あいさつ 形原総代会会長 藤田 幸三 氏
 - ・来賓あいさつ 蒲郡警察署生活安全課長 森 匡司 氏
蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
 - ・協議
 - ・準備会報告
 - ・本年度のテーマについて
 - ・地域ふれあい活動について
 - ・コミュニティスクールについて 形原中学校長 櫻間 寿人 氏
 - ・令和 4 年度 地域安全・青少年健全育成市民大会 意見発表（紙上発表）
 - ・報告（小中学校の現況報告） 形原小、形原北小、形原中
 - ・その他（分団会について）
 - ・お礼のことば 形原北小学校長 廣瀨 俊伸 氏
 - ・閉会のことば 形原総代会副会長 岩瀬 安正 氏

2 令和5年度 形原地区「地域ふれあい活動」日程

地区名	月日 (曜)	開始時刻	集合場所	テーマ 主な活動内容
形原中	10/26 (木)	14:30	生徒と総代が相談をし、地区ごとに決めた場所	『SKaT 活動』(地域清掃活動) ・総代と相談をしての清掃場所探し(夏休み) ・日頃お世話になっている地区の様々な場所をきれいにしよう
形原小	11/28 (火)	13:55	・形原小学校 体育館	『地域を守るんだ! 形原防災計画』 ・三河地震について(紙芝居) ・形小すごつ6 防災マップについて(意見交流)
形北小	10/26 (木)	13:50	・あじさいの里 ・双太山公園 ・北浜公園と海岸	『心の輪 ~笑顔であいさつ みんなで協力 いつでも仲良し 形北小~』(地域清掃活動) ・形北の町をみんなの力できれいにしよう

3 地域ふれあい活動

形 原 中

日 時 10月26日(木) 14時30分~15時30分

会 場 ふれ合い活動(SKaT活動) 活動場所

地区	通学団	活動場所	地区	通学団	活動場所
1区	1	秋葉神社	7区	7-1	双太山公園
2区	2	稲荷神社と漁港		7-2	出口チビッコ広場, 前野チビッコ広場
3区	3	旧形原漁港		7-3	太陽の家西側遊歩道
4区	4	しあわせ会館		7-4	天満神社, 形原テニスコート
5区	5-1	形原神社	8区	8-1	8-1地区全ての清掃
	5-23	素戔鳴神社(かれき神社)		8-2	温泉街道より東にのびる歩道(彼岸田北側)、ゴミ捨て場付近
鹿川	鹿川	鹿川交差点北東247号線歩道		8-3	形北小西歩道、岩上神社
6区	6-1	明後の諏訪神社		8-4	折坂公園
	6-2	春日浦公園の松の木周辺	鹿島北	鹿島北	鹿島児童遊び場周辺
			北浜区	北浜区	北浜公園

参加者 460名(全校生徒・総代・中学校保護者・地域の方)

テーマ 「SKaT 活動」(地域清掃活動)

<当日まで>

①8月18日(金)

自分の地域で清掃したい場所、活動したいことを夏休み中にリストアップし、各地区総代の方と協議をして決める。



②10月11日(水)

総代の方と協議したことを通学団員に伝達し、活動の役割分担をする。

<当日10月26日(木)>

① 団長より挨拶、説明

② 活動内容

・防災活動、清掃活動、閉会式 挨拶、総評



◆ 感想

私は双太山公園を清掃しました。双太山公園は家から近くてよく友達と遊びに行きます。私、友だち、家族、地域の方たち、みんなが使う場所をきれいにできて良かったです。私は友だちと二人で二袋いっぱい集めました。誰かのために自分が働くということは、とても気持ちが良くなりました。来年、再来年はもっともっと私、友だち、家族、地域の方たちが気持ちよくこの場所を使えるように清掃したいです。家や、学校でもこういう習慣をつけておきたいなと思いました。

(1年)

SKaT活動は2回目で、去年も落ち葉がたくさんありましたが、その中にペットボトルなどのゴミも発見し、ゴミが減らないことが悲しいなと思っていました。ですが、仲間と協力して細かいところまできれいにすることができてとても良かったです。また、地域の方々から「おつかれさま」や「ありがとね」と声をかけてくださったときが一番やる気につながりました。これからもボランティア活動をしていきたいです。

(2年)

SKaT活動をしてみて、地域の掃除をする大変さを知りました。私たちは春日浦公園を掃除したんですけど、とても広い規模だったので何十人いても時間がかかりました。それを一週間に一度やってくださる地域の人たちは本当にすごいと思いました。SKaT活動を通して、自分たちの地域を掃除するのはとても良かったなと思いました。やってみて大変な気持ちもあったけど友だちと協力してできたとし、地域の人たちが喜んでくれたのでがんばって良かったです。また、やりたいと思いました。

(3年)

形 原 小

日 時 11月28日(火) 13時55分～14時40分

会 場 形原小学校 体育館

参加者 85名(6年児童・総代・危機管理課・保護者・職員)

テーマ 「地域を守るんだ! 形原防災計画」

活動内容 三河地震(紙芝居)形小すごっ6防災マップ(意見交流)



<三河地震の紙しばい>



<地区の方をまねいて>



<危険箇所の検討①>



<危険箇所の検討②>

◆ 感想

地域や危機管理課の人から、安全や危ない場所を教えてもらうことができ、自分たちの防災マップがパワーアップできました。避難所に無料で電話ができる所やAED、消火器があることが分かりました。そして、形原のまちには安全な場所と危ない場所があると分かりました。(6年男子)

地域の人に伝わるようにはきはきと話をしました。地域の方は「御嶽神社の所は大きな木があって危ない」と言っていて、構造物だけでなく、自然の危険もあることに気づきました。地域の方が、「こんな所が、危険だと知らなかった」と言っていたから、自分たちの考えを伝えることができて良かったです。(6年男子)

私が一番印象に残っているのは、地域の総代さんに、危険や安全について聞いたことです。形原の海の方に、津波防止の門があるということでした。そして、津波が来るのに震源が遠ければしばらくかかると聞いたので、もし地震が起きたときは、安全に冷静に避難したいと思いました。(6年女子)

来てくれた地域の人のおかげで、私たちが気づくことができなかった危険場所をたくさん知ることができました。命を守るためには、多くの人の協力が必要だと思いました。もっと地域の人たちや1年生から5年生の子たちにも、私たちの防災マップを伝えたいと思いました。(6年女子)

形 北 小

日 時 10月26日(木) 13時50分～14時40分

会 場 あじさいの里・双太山公園・北浜公園と海岸

参加者 269名(4・5・6年生児童、総代、保護者、各公園管理担当)

テーマ 「心の輪 ～笑顔であいさつ みんなで協力 いつでも
仲良し 形北小～」(地域清掃活動)

① 開会式 挨拶、説明

② 活動内容

・学区の清掃活動(あじさいの里・双太山公園・北浜公園と海岸)

③ 閉会式 挨拶、総評



<あじさいの里>



<双太山公園>



<北浜公園と海岸>

◆ 感想

僕は、あじさいの里の掃除をして、地域の人たちの心の温かさを感じました。平日なのに、地域の人たちが手伝いに来てくれて、うれしかったです。僕が一番頑張ったのは、みんなが集めてくれたごみを袋に入れたことです。毎年、みんなが楽しみにしているあじさいの里がきれいになってうれしかったです。(6年 男子)

双太山公園の掃除を経験して、いつも公園をきれいしてくれている町の人たちに負けないように私もがんばらないといけないと思いました。落ち葉や木の枝、大きな石も拾ってきれいになったので、小さい子やおじいさんやおばあさんが安心して双太山公園に来てくれるといいなと思いました。(4年 女子)

北浜公園の掃除をして気づいたのは、いつも使っている公園が地域の人々の苦勞できれいになっているということです。次から公園を使う時は、そのことを忘れないようにして、感謝の気持ちをもって遊びたいと思います。北浜公園をみんなで協力して掃除をしたことはとても楽しかったです。(5年 男子)

4 まとめと来年度に向けて

(1) 青少年健全育成協議会（ふれあい活動も含む）

形原地区では、以下に示すように、大きく4つの会議・活動を設けている。

- ①準備会（4月中旬）……新役員により本会（全体会）の実施案（テーマ、活動方針など）について検討する。
- ②全体会（5月中旬）……本年度のテーマを決定する。ふれあい活動の具体的な内容を検討する。地区の情報交換を行う。
- ③ふれあい活動（10月～11月）……各地区の特色を生かした活動を行う。
- ④反省会（1月中旬）……1年間の反省から次年度の方針について話し合う。

以上のような会議・活動を通して、地域の子どもたちの健全育成に取り組んでいる。

本年度は、コロナにより地域の活動をコロナ前のように行うことが難しいと判断し、今年度一年は昨年度行われていた各学校で実施していたふれあい活動と同様に清掃活動を実施することを決定した。全体会では、準備会で決定したことを発表し、関係する方々へ周知をした。

各学校でのふれあい活動では、子どもたちは、清掃活動・防災活動を通して地域の方と結びつきを大切に考え、一生懸命取り組むことができた。また、この清掃活動を通して、地域の方とともに活動したり、通りすがりの方にあいさつをしたり、地域の方から褒めてもらったりしたことによって、地域との関わりを生むことができた。コロナ前とは違った地域ふれあい活動になったが、総代さん・保護者の方の協力を得て、よい活動を行うことができた。

反省会は、来年度に向けて、地域主体に戻したふれあい活動について話し合いをする予定である。

(2) 来年度に向けて

前年度と同様に、各学校の清掃活動を実施してきた。次年度は、地域の特色を生かした活動を実施していきたい。だが、4年間、地域でのふれあい活動ができていない状況にあるため、運営を経験している者が少なくなっている現状がある。運営に支障をきたすことも予想されるが、もう一度、ふれあい活動の意義に立ち返り、どのような活動が形原地区の子どもたちが健全に育っていくことにつながるのかを考える機会としていきたい。また、子どもたちと地域の関わりを、ふれあい活動から発展させて、学校生活や日常生活の中に積極的に取り入れていきたいと考えている。

7 西 浦 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成推進協議会準備会

- ① 日 時 令和 5 年 4 月 20 日（木）16 時 30 分～
- ② 場 所 西浦中学校 会議室
- ③ 参加者 学区 5 地区総代、小中学校 PTA 会長・副会長・女性部長
小学校 PTA 生活部員、中学校 PTA 補導部員
保育園園長、保育園父母の会会長・副会長
小中学校校長、小中学校校務主任、中学生通学団長・副団長（計 40 名）
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年度の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認
・ふれあい活動の内容検討 実施日時・場所・役割分担

(2) 青少年健全育成推進協議会

- ① 日 時 令和 5 年 5 月 18 日（木）10 時 00 分～
- ② 場 所 西浦公民館
- ③ 参加者 学区 5 地区総代、学区市議会議員、公民館長、公民館主事
地域学校協働活動推進員、主任児童委員、児童館長、消防団分団長、
交通安全協会分会長、交通安全推進協議会事務局長、防犯推進協議会代表
更生保護女性会、保護司、民生・児童委員、人権擁護委員、少年補導委員、
地域補導員、子ども会理事、保育園父母の会会長・副会長
小中学校 PTA 会長・副会長・女性部長・生活部長・補導部長
保育園長、小中学校校長・校務主任
＜来賓＞青少年センター所長、蒲郡警察署生活安全課長 （計 62 名）

④ 内 容

- | | | | |
|-------------|-----------|--------|---------|
| ア 開会のことば | 協議会副会長 | 竜田総代 | 尾崎 博敏 氏 |
| イ 主催者あいさつ | 協議会会長 | 稲生総代 | 壁谷 亮二 氏 |
| ウ 青少年センター挨拶 | 青少年センター所長 | 鈴木 洋 氏 | |
| エ 蒲郡警察署挨拶 | 生活安全課課長 | 森 匡司 氏 | |
| オ 協議・報告事項 | | | |

◎ 基本方針 ＜ 本年度の健全育成スローガン ＞

西浦人の共通の願い ◎地域みんなで育てる 健やかな西浦っ子 基本方針 「家族とのコミュニケーションを大切にする西浦っ子」 「大きな声で元気にあいさつできる西浦っ子」 「笑顔の絶えない明るい西浦っ子」
--

◎ 活動方針

- 家庭で子どもと話をしよう。
- 地域・家庭・学校の連携・協力を深めよう。
- 地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかけよう。
- 家庭の教育力を地域で育てよう。

◎ ふれあい活動について

事務局

◎ スクールガードの活動について

小学校 PTA 生活部長

1 目 的

- ・交通事故からの危険防止、不審者対策、野犬対策として行う。
- ・地域から募ったボランティアと PTA 会員のみなで、子どもたちの登下校を見守り、西浦地区の交通安全と防犯に努める。

2 活動内容 〈できる時に、できる場所で、できることを！〉

- ①子どもの帰宅時刻近くに自宅付近の道に出て近所の子どもを出迎える。
- ②子どもといっしょの登下校 ③登下校時にあわせて近所の散歩
- ④交通立ち番：交差点などで子どもの様子を見守る等、できることをする。

3 構成員

- ・地域から募ったボランティア、PTA 会員全員

◎ PTA 見守り隊について

中学校 PTA 補導部長

1 目 的

- ・地域の人たちと接する機会を通し、生徒の社会性や他者と豊かに関わる力を育む。
- ・生徒の通学路を点検し、危険箇所の確認をする。
- ・今年度の重点目標・・・自ら進んであいさつする態度を養う。

2 活動内容

- ①生徒下校時刻（雨天時も実施）に見守り活動をする。
- ②見守り時は、あいさつ、声かけ、交通安全や防犯（不審者対応）のための活動をする。

3 構成員

- ・PTA 会員全員 ・4 人～8 人で班編成をする

◎ 各校園の現状報告

西浦保育園・小学校・中学校

カ お礼のことば

西浦中学校長

小澤 良充 氏

キ 閉会のことば

協議会副会長 竜田総代

尾崎 博敏 氏

2 令和5年度西浦地区「地域ふれあい活動」

橋 田

日 時：11月26日（日）10時00分～12時00分

会 場：明柄グラウンド 【参加者 60名】

テーマ：グラウンドゴルフ・ビンゴゲーム

グラウンドゴルフでは、地域の方が「おいしい！」「次で入るよ！」と優しく応援をしてくださいました。ビンゴゲームでは、自分が司会を務め、場の雰囲気を盛り上げることができ、すごくうれしかったし、楽しかったです。

（中3男子）

地域みなさんといっしょに活動したことで、とても良い経験ができました。グラウンドゴルフがとても楽しかったです。（小6男子）



<グラウンドゴルフ>

知 柄

日 時：5月21日（日） 8時00分～10時00分

会 場：知柄地区各所・知柄児童遊園地 【参加者 110名】

テーマ：町内一斉大掃除・ビンゴゲーム

ビンゴゲームで、子供から大人までみんな楽しそうにやっていたので、自分たちで司会進行をしてよかったなと思いました。（中3女子）

清掃はとても大変でしたが、ふと周りを見ると笑顔の人々が交流をされていて、心が温まりました。（小6男子）

草をどこに片付ければいいのか、地域の方が教えてくれました。みんなの協力で町がきれいになるのは、とてもいいことだと感じました。（小6女子）



<清掃活動とビンゴゲーム>

稲 生

日 時：7月16日（日） 9時00分～11時30分

会 場：稲生地区全域、稲生会館 【参加者 60名】

テーマ：稲生の宝さがしゲーム、ビンゴ大会

ふれあい活動は、普段、関わりの少ない小学生や地域の方々とお話しできる機会です。私たちが準備から運営までできたことがとても嬉しかったです。(中3女子)

今までなかった新しいふれあい活動ができ、とても嬉しかったです。私たちも盛り上げることができました。(中2女子)

中学生のみんなが宝探しやビンゴゲームなど、いろいろな遊びを考えてくれました。おかげでとても楽しむことができました。私が中学生になったら、みんなを楽しませたいです。(小4女子)



<宝さがしとビンゴゲーム>

馬 場

日 時：9月10日(日) 10時00分～12時00分

会 場：西浦小学校体育館 【参加者 65名】

テーマ：ドッジボール大会、ビンゴゲーム

ドッジボールは、小さい子から大人まで楽しめる遊びだと思いました。おかげで地域の仲が深まりました。(中1女子)

幅広い年齢層の人が楽しくできる交流を増やせば、もっと明るく楽しい街になると思いました。(中3男子)

ふだん地域の人と関わる機会があまりないので、ふれあい活動で楽しく過ごすことができました。中学生がてきぱきと動いてくれたおかげで、楽しむことができました。ぼくもこんな中学生になれるようにがんばりたいです。(小6男子)



<ドッジボール大会とビンゴゲーム>

竜 田

日 時：9月10日(日) 10時00分～12時00分

会 場：竜田会館 【参加者 42名】

テーマ：和太鼓を叩こう

和太鼓は昔からずっと受け継がれているとわかりました。地域の方が太鼓をたたく楽しさを教えてくださいました。またやりたいなと思いました。(中2男子)

和太鼓をたたきに竜田会館に行きました。和太鼓を覚えることができたので、忘れないようにがんばっていきたいです。(小5男子)



<和太鼓を叩く様子>

令和 5 年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ

1 健全育成協議会・準備運営委員会等について

健全育成協議会では、本年度の地区健全育成協議会の活動方針、委託料予算の審議に続いて、それぞれの地区の青少年の生活状況や危険箇所に関する情報交換、本年度のふれあい活動について話し合うという流れで実施されている。例年 5 月を中心に行われる健全育成協議会は、久しぶりに全地区で実施することができた。中学校区に住む地域の大人たちが一堂に会することから、近年では避難所開設職員の紹介もしている。令和 3 年度蒲郡地区と西浦地区から始まった地域学校協働活動事業は、令和 5 年度市内全域で実施されるようになった。この事業をより一層推進していくために、地域学校協働活動推進員も協議会に参加するようになった。今後の継続した取り組みが期待される。

2 地域ふれあい活動について

5 月に新型コロナが 5 類に移行したことから、本年度の地域ふれあい活動はほぼ計画通りに実施することができた。

感染症対策として清掃活動を実施した地区もあったが、多くの会場で中学生が中心となって活躍する姿が見られた。ふれあい活動の準備会に中学生を参加させ、様々な意見を求めたり、開催準備のための仕事を任せたりする地区が増えてきている。こうした地域の大人たちの配慮や期待が、中学生に自己有用感や地区への帰属意識を育み、健全育成に大きな効果がもたらされている。

「ミニ集会」からスタートし、現在の「ふれあい活動」の形に移り変わり始めて 30 年近く経つ。地域の重要な行事として位置づけ開催している地区も多い。これも総代や常会長、公民館を中心にふれあい活動の意義を十分認識し、開催に向けてのリーダーシップをとってしてくれるからこそである。青少年の健全育成を目的にこうしたふれあい活動が開催されている市は、他に聞かない。開催にむけて関係者には開催経費等、様々な負担をかけていると思うが、蒲郡市の特色の一つとして、今後も継続して開催されていくことを切に願う。

Ⅲ 令和 5 年度 補導員活動

1 補導員全体会

4 月 19 日（水）午後、市民会館東ホールで補導員全体会を実施した。地区別打ち合わせ会を 4 つの会議室に分かれて実施した。

2 班長会

4 月 19 日(水)の第 1 回班長会で、昨年度に引き続き代表に形原班班長の寺元幸治氏が選出された。

3 地域安全・青少年健全育成市民大会

教育委員会委嘱の補導活動が終了するため、令和 5 年度末で全ての地域補導員が退職となる。10 月 25 日(水)に開催された市民大会の場で、地域補導員を 5 年以上お勤めの方と各班長を紹介し、感謝状を贈呈した。

＜班長＞ 寺元幸治氏(22 年 形原班)、永田久子氏(19 年 蒲郡班)、小田洸次氏(18 年 三谷班)、吉見潤一郎氏(10 年 西浦班)、天野孝行氏(6 年 塩津班)、藤田光貴氏(6 年 大塚班)、中西佳子氏(2 年 中部班)

＜長期継続＞ 尾崎秀夫氏(17 年 形原班)、前田康司氏(15 年 形原班)、小島儀千氏(11 年 形原班)、木村正敏氏(10 年 三谷班)、平野昭治氏(10 年 三谷班)、足立恭世氏(10 年 蒲郡班)、尾崎佳孝氏(10 年 西浦班)、三浦昌二氏(10 年 西浦班)、小野田好男氏(9 年 形原班)、壁谷宏戸氏(8 年半 西浦班)、小田公康氏(7 年 形原班)、昼間啓次氏(6 年 三谷班)、倉橋君子氏(6 年 三谷班)、荒島好子氏(6 年 蒲郡班)、大場和生氏(6 年 蒲郡班)、杉浦喜久男氏(5 年 塩津班)

4 校外補導部会・班長会合同会議

各小中高等学校の校務主任、生徒指導主事等で任にあたっていただく校外補導部会と、各地区の班長 7 名との合同会議で、2 月 2 日(金)の 1 回開催とした。各学校の児童・生徒の生活状況等について情報交換し、いままでの尽力に感謝した。

5 補導活動実施状況(令和 6 年 1 月 13 日現在 提出済みの実施報告書の数を記載)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
街頭補導	回数(回)	30	5	15	15	10	16	19	13	19			
	活動委員延べ人数(人)	57	11	31	36	18	37	62	24	40			
	補導件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

教育委員会主導の補導活動は本年度をもって終了となるが、蒲郡警察署が委嘱している 25 名の少年補導委員は今後も活動を継続していく。

Ⅳ 令和 5 年度 青少年健全育成協力店

令和 2 年 11 月に青少年健全育成協力店指定要綱を改正し、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどに協力いただき、地域ぐるみで青少年を見守り育てる環境を整えている。

令和5年度 青少年健全育成協力店一覧

令和5年12月1日現在 60店舗

店舗名	中学校区
株式会社ラグーナテンボス	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚海岸店	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚店	大塚
宮瀬自転車モーター商会	三谷
丸英自転車店	三谷
蒲ちゃん	三谷
有限会社 二葉書店	三谷
合資会社エンジュ堂薬局	三谷
不二屋	三谷
ファミリーマート蒲郡三谷町店	三谷
ファミリーマート三谷店	三谷
株式会社精文館書店 蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
JOYJOY 蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
亜熱帯蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
ユニ株式会社アピタ蒲郡店	蒲郡
ドコモショップ蒲郡駅北店	蒲郡
ミニストップ蒲郡八百富町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡港町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡八百富町店	蒲郡
中川自転車商店	蒲郡
サンヨネ蒲郡店	蒲郡
ミント ひな庄	蒲郡
有限会社 金原書店	蒲郡
ヘアーサロンウカイ	蒲郡
ソフトバンク蒲郡	蒲郡
クスリのアオキ豊岡店	蒲郡
まん天や	蒲郡
ケーズデンキ蒲郡店	蒲郡・中部
ファミリーマート蒲郡上本町店	蒲郡・中部
ミニストップ蒲郡緑町店	中部

店舗名	中学校区
ドラッグスギヤマ宝店	中部
ベンテン	中部
セブンイレブン蒲郡旭町店	中部
コミュニティサロン結	中部
ファミリーマート蒲郡栄町店	中部・塩津
幸 美容室	塩津
スギドラッグ蒲郡西店	塩津
ファミリーマート蒲郡塩津店	塩津
DCM カーマ新蒲郡店	塩津
㈱ヤマダデンキ テックランド蒲郡店	塩津
リサイクルショップフカツ蒲郡店	塩津
ウエルシア薬局蒲郡竹谷町店	塩津
au ショップカインズモール蒲郡	塩津
イオン蒲郡店	塩津
ローソン蒲郡工業団地店	塩津
ファミリーマート蒲郡拾石東浜店	塩津
スギドラッグ竹谷店	塩津
ドコモショップ蒲郡店	塩津
アピタ蒲郡店	塩津
セブンイレブン蒲郡形原町店	形原
ファミリーマート蒲郡春日浦店	形原
㈱ヤマナカ形原店	形原
ドラッグスギヤマ形原店	形原
ローソン蒲郡中戸甫井店	形原
観音堂菓子店	形原
ブティックツルヤ	形原
ヘアサロンワタナベ	形原
いとう理容室	形原
クスリのアオキ形原店	形原
尾崎自転車店	西浦



「青少年健全育成協力店」は地域ぐるみで青少年を見守り育て、非行を防止する環境を整えていくことを目的に、昭和57年度から実施している活動です。

協力店として登録いただける場合は、右図のリンクから申請ください。

(問合せ先 蒲郡市青少年センター 0533-66-1168)



[申請はこちらから](#)

【第4号報告（議案）】 令和4年6月8日（水）青少年問題協議会で提案→可決

「教育委員会委嘱による補導の取り止め」の方向について

1 現時点の方向（案）

★ 令和6年度4月から、教育委員会（青少年センター）による地域補導員・校外補導員の委嘱を取り止め、教育委員会主導による「地域補導・校外補導」を取り止める

- * 警察署所管の「少年補導委員」（各中学校区に3～4名配置）は、今後も存続する。
- * 現在、教育委員会が委嘱して活動しているのは、地域補導員48名、校外補導員46名、合計94名
- * 教育委員会委嘱の「地域補導員」「校外補導員」等は、青少年センターが設立された、昭和38年度から設置されている。（現在で、60年経過）
（当時は地域補導員45名、職場補導員66名、学校補導員49名 合計160名）
（いわゆる学校や社会が荒れ始めた頃より開始。）

★ 取止めまでの取り組み審議

- | | |
|-------------|--|
| * 平成14年度 | 職場補導員廃止。校外補導員半減（97→46名）
特別補導員設置（週3回程度巡回補導する専門員2名） |
| * 平成30年度より | 特別補導員廃止 |
| * 令和2年度より | PTAによる夏休み特別補導の取り止め |
| * 令和4年度～5年度 | 補導回数・補導会議を半減 |
| * 令和4年度末 | 現状の再吟味と、令和6年度からの取り止めの決定 |
| * 令和5年度 | 教育委員会委嘱の補導最終年度
青少年センター設置条例改正（案）& 青少年センター運営規則改正（案）の策定について検討・審議 |
| * 令和6年度より | 教育委員会委嘱の補導活動の取り止め |

【現在、補導に携わっている方々】

- ① 「少年補導委員」……警察署所管（委嘱）の方々（各中学校区に3～4名配備）
- ② 「地域補導員」……教育委員会委嘱の方々（各総代区から1名推薦いただいた方を委嘱。各中学校区にある総代区の数だけ配備）
（各学区3～10名程度）
- ③ 「校外補導員」……教育委員会委嘱の教員。各小中学校・高等学校から2名ずつ先生方を配備。

★ この3年間は、①～③の方々が合同で「地域補導・校外補導」を展開

→ その前までは、②③の方で「地域補導・校外補導」を行っていて、①は別行動で補導活動していた。

→ 3年前に、警察署からの要請もあって、現在は①②③合同で行っている。

★ 令和6年度以降は、各学区の「少年補導委員」（警察署所管）の方々と、各学校が必要ならば連携して各学区の補導を継続もしくは、情報交換を密にしていくことで対応。（学校↔少年補導委員 の連携を必要に応じて深める）

- ★ 加えて、令和４年度から警察署が配置した「スクールサポーター」と各校が情報交換する事柄に基づき、警察署所管の「少年補導委員」が活動していく。

2 取り止めの主な事由

(１) 本市の児童生徒・若者が、大変落ち着いた状況にあり、今後もこの状況は続くと推測する

- ① 各学校にかつてのような非行生徒・荒れた生徒・大人の言うことに反発する生徒は皆無に等しい。(これまでの補導推進の成果。時代の変化。学校教育の成果。)
- ② 「地域補導・校外補導」で巡回する夕方や日中に、児童生徒の姿がとても少なくなった。夕刻の補導時には、公園・店舗等にほとんど子どもの姿がない。
- ④ 実際に、「地域補導・校外補導」で補導や注意喚起をした件数は、今や皆無。

【警察が深夜等に補導した件数の大きな変化】

(犯罪少年)(粗暴・窃盗や万引き・バイク盗)	H 2 0 (9 6) → R 2 (8)
(不良行為)	喫煙 H 2 0 (1 8 0) → R 2 (3 0)
	深夜徘徊 H 2 0 (5 0 8) → R 2 (1 6 4)

(２) 子どもの遊び方や過ごし方が変化し、補導の必要性が激減した

→ 時代の変化に伴い変化……この傾向は一層顕著になっていくだろう

- * 遊ぶ時間がない(塾・習い事)
- * 遊ぶ場所がない(広場の減少・海や川など危険個所に指定)
- * 仲間と遊ぶ術を知らない子が増えた。遊び方を教える先輩や大人も減った。
- * 子どもの数が減った(近所にも仲間が少ない)
- * 家の中で遊べる・楽しめる・他者とつながれる時代(ゲーム機・タブレット スマホ・ネット・SNS・・・)自分一人で遊べて過ごせる
- * スマホ等で仲間と連絡を取り合うことで、仲間と連れだっていたり、たむろして話をしている必要がなくなってきた。

(３) 街や子どもを取り巻く環境が変化し、街全体が防犯社会となってきた

→ 時代の変化でいっそう犯罪抑止の社会となっていくだろう

- * 店舗や公園に防犯カメラ設置がほとんど。ドライブレコーダーでも監視社会。
- * タバコが高価になって、時代は健康志向、喫煙そのものがタブー化
- * 大型ゲーム店舗の閉鎖(ファンタジアン・ヤングプラザの閉店)
- * 大人の刑法犯罪認知件数も減少した(大人や若者の犯罪も減少している)

- ★ 上記の(１)～(３)を鑑みると、教育委員会委嘱の補導活動は、その役割を終えても良い時期となったと考える。(今後は警察所管の少年補導委員さん方と各学校で連携を強化していく方向で進め、補導の規模縮小を図る)。
- ★ 今後、補導が必要となった時には、「各学区の青少年健全育成協議会」の中で、もしくは、令和６年度から全中学校校区で推進されていく「地域学校協働活動」の中で、その組織を立ち上げていけばよいと考える。(各地域の実情や必要性にあわせていくことが望ましい)
- ★ 青少年センターによる青少年健全育成は、「補導」から、「相談活動や心の指導の充実」や「SNS 指導啓発」、「地域と子どもたちの結びつきの強化」等にいっそうシフトしていくことが望ましいと考えている。

V 令和5年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

主催 蒲郡市青少年問題協議会

共催 蒲郡警察署・蒲郡防犯協会連合会・蒲郡市総代連合会
蒲郡市教育委員会・蒲郡市青少年センター補導員会
蒲郡少年補導委員会・蒲郡市生徒指導研究推進委員会
社会を明るくする運動蒲郡市実施委員会

10月25日(水)に蒲郡市民会館中ホールで「令和5年度 地域安全・青少年健全育成市民大会」を実施した。会場に大勢の観客を迎えることができた。昨年度とほぼ同様の運営方法で時間短縮を図った。本年度をもって補導員活動を終了するため、長年地域補導員として活躍された補導員の皆さんを紹介し、感謝状を贈呈した(35ページ参照)。

日時 令和5年10月25日(水) 午後1時30分より

場所 蒲郡市民会館中ホール

次第

- 1 開会のことば
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 優秀ポスター表彰者紹介
- 5 功労者紹介
- 6 顧問祝辞・来賓紹介
- 7 大会宣言
- 8 小学生・中学生・高校生の意見発表並びに表彰・講評

テーマ「明るい社会・安心のまちづくりのために」



<意見発表者とポスター入賞者>



<会場の様子>



<入賞ポスター作品>

意見発表者

竹島小学校 6年	橋本日菜子
蒲郡南部小学校 6年	山口 大智
蒲郡中学校 3年	壁谷 鈴珠
三谷中学校 3年	森下 凜
塩津中学校 3年	坂上 直駿
大塚中学校 3年	小橋川ホルヘ
形原中学校 3年	平澤 晴己
西浦中学校 3年	松下 桜子
中部中学校 3年	牧原 由依
蒲郡高等学校 2年	今井 蓮心
蒲郡東高等学校 2年	塩谷 美結
三谷水産高等学校 3年	鈴木 佑大

優秀ポスター入賞者

市長賞	形原中学校 3年	酒井 花梨
警察署長賞	西浦中学校 1年	三浦 綺莉
防犯協会連合会長賞	三谷中学校 1年	平野 露花
蒲郡保護区保護司会長賞	大塚中学校 1年	小川アキラ
入選	蒲郡中学校 3年	鈴木 汐莉
入選	塩津中学校 3年	石川 真妃
入選	中部中学校 2年	リ ネイリン
入選	蒲郡高等学校 1年	牧野 歩未
入選	蒲郡東高等学校 2年	塩谷 美結
入選	三谷水産高等学校 3年	市川 心愛

小学校作文入賞者

蒲南小 6 年 立石杷子	塩津小 6 年 石川ひかり	形原北小 6 年 渡辺沙也香
蒲東小 6 年 森田智揮	塩津小 6 年 坂部陽咲	形原北小 6 年 山本奏心
蒲東小 6 年 盛永 花	大塚小 6 年 山口裕大	中央小 6 年 石田麻菜
蒲北小 6 年 榊原靖幸	大塚小 6 年 岩瀬 仁	中央小 6 年 飯尾紅巴
蒲北小 6 年 朝倉花乃	形原小 6 年 小澤紗矢香	三谷東小 6 年 大須賀陸仁
蒲西小 6 年 足立一晟	形原小 6 年 牧原綾音	三谷東小 6 年 中村莉子
三谷小 6 年 小田愛莉	西浦小 5 年 汐田智沙	竹島小 6 年 吉田士輝
三谷小 6 年 津田彩夏	西浦小 5 年 牧原璃斗	

大 会 宣 言

新型コロナウイルス感染症は第5類に引き下げられましたが、感染状況は依然波を繰り返し、なかなか完全収束とはいきません。小中学校ではときどき学級閉鎖をしています。また、学校のみならず多くの会社や企業内でも未だに多くの者がマスクを着用しています。完全にマスク着用のない以前の生活に戻ることは、なかなか難しい状況です。

この状況下でも市内の小中学校・高等学校における児童生徒らの非行や問題行動は極めて少なく、落ち着いて実りある教育活動が展開されています。礼儀やマナーの良い子らも多く良好です。

一方で、インターネットやSNSの普及により便利な社会になったものの、本市においてもSNSによる誹謗中傷・なりすまし被害・性被害・不適切動画掲載などの事案が増え、その低年齢化も進んでいます。さらには、不登校や引きこもりの数も依然として増えつつあります。

一般犯罪に目を向ければ、本市では空き巣などの侵入盗をはじめ、自転車盗や車上ねらい等の犯罪が多く発生していますし、特殊詐欺被害も高齢者に限らず、いまだ後を絶ちません。

全国ニュースで報じられている事件や犯罪、子どもや若者を取り巻く問題や課題は、この蒲郡でいつ生じてもおかしくないものと気を引き締めたいところです。

私たち蒲郡市民は、地域・家庭・学校・関係諸機関がいっそう連携し、相互の絆を確かなものにし、青少年の健全な育成に努め、安全・安心で、明るく住みよい社会をつくっていく使命があります。

子どもたちや若者は未来を拓く宝物です。この市民大会をきっかけにして、今一度私たち一人ひとりが、「犯罪や事故にあわない」「犯罪や事故を起こさない」「犯罪を見逃さない」「地域や家庭の教育力を高める」を合言葉に、誇りと熱意をもって、地域安全・犯罪防止・交通事故防止・青少年の健全育成活動に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和 5 年 10 月 25 日

令和 5 年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

Ⅵ 令和 5 年度 子ども・若者支援活動報告

1 令和 5 年度蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の活動

(1) 代表者会議 6 月 12 日 (月)

・令和 4 年度活動報告、令和 5 年度活動方針・計画等の提案

(2) 実務者会議

(6/12)・協議会参加者の紹介報告会

・相談窓口の利用状況と今後の課題

(8/21)・「こども家庭庁」の発足について学習会(子育て支援課主幹 柴田憲太氏)

(11/20)・「ひきこもりからの立ち直り～有効だった支援を本人が語ります～」

がまごおり若者サポートステーション 水谷栄恭氏

北斗寮 藤野佑亮氏・平向剛士氏

(3) 一般社団法人パーソナルラボ(旧東三河セーフティネット)との連携を密にした。

(4) 「子ども・若者相談窓口」を市民に案内

・広報がまごおり掲載、イメージキャラクターを掲載したリーフレットを作成し、市民へ周知を図った。

・小中学校や、各地区民生委員会議で、相談窓口設置についての周知を図った。

(5) がまごおり若者サポートステーションとの連携強化

不登校児童生徒に対する学習相談支援の実施

(6) 相談メールアドレスの二次元コードを掲載した窓口 PR カードの作成

卒業時、市内中学 3 年生全員に配布

2 子ども若者相談窓口の相談件数(令和 6 年 1 月 13 日現在)

○月別相談件数

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
4	43	43	46	35	29	25	48	51	58	38	44	31	491
5	26	17	28	32	43	35	30	31	22	9			290

○実人数(年齢・性別)

年度	幼	小	中	高	大・専	15～19	20～29	30～39	40～	不明	計	男	女	新規	継続
4	0	3	12	5	1	1	6	5	3	0	36	25	11	17	19
5	1	0	6	6	0	1	6	3	3	1	27	23	4	17	10

○主な相談内容

年度	親子関係	虐待・暴力	不登校	学業・進路	ひきこもり	発達障害	生活支援	就労支援	その他	合計
4	3	1	15	2	9	1	0	2	2	36
5	4	1	7	1	7	0	0	1	6	27

お気軽にご相談ください。お待ちしております！

蒲郡市子ども・若者相談窓口



つながらり
つくろう
じっくりと
つつじです

子ども・若者相談窓口って何？

自立に困難を抱える子ども・若者一人一人に寄り添い、適切な支援・相談機関の紹介、情報の提供や助言を行う蒲郡市の機関です。

ニート・ひきこもり、不登校、非行に関する困りごとやいじめなど様々な困難に対して、必要に応じて、教育、福祉、雇用など各分野に支援を依頼し、就労・就学に結びつくような対応に努めます。

どんな相談ができるの？

「就労・就学の不安」「対人関係」「生き方の不安」などの悩み、「不登校」「高校・大学の中退」「ニート」「ひきこもり」「非行に関する困りごと」や「いじめ」など、どんな相談でもお受けします。

誰でも相談に乗ってもらえるの？

蒲郡市に在住、在学のおおむね40歳未満の方が対象です。（小中学生、高校生、大学生も対象です） **相談は無料です。**

本人、ご家族、親戚、学校、地域の支援団体など、どなたからの相談にも応じます。

どのような機関が支援してくれるの？

お話を伺う中で、他機関を紹介したり、他機関と連携して支援する場合があります。支援の中核となる機関は、がまごおり若者サポートステーションで、就労に向けた仕事体験、各種セミナー等を実施しています。不登校児童生徒に対する学習支援も行っています。また、パーソナルラボ（旧：東三河セーフティネット）の家族環境支援士による支援も可能です。その他、子ども・若者支援ネットワーク協議会に参加している、福祉、保健、教育、雇用等の公的機関・民間機関が支援を担当します。

相談方法は？

窓口での面談、訪問相談、電話相談、メール相談となります。

<相談日・相談時間>

毎週 月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時まで
（祝日と年末年始はお休みです）

<所在地>

愛知県蒲郡市港町17番17号

蒲郡市生命の海科学館1階

<相談申込先>

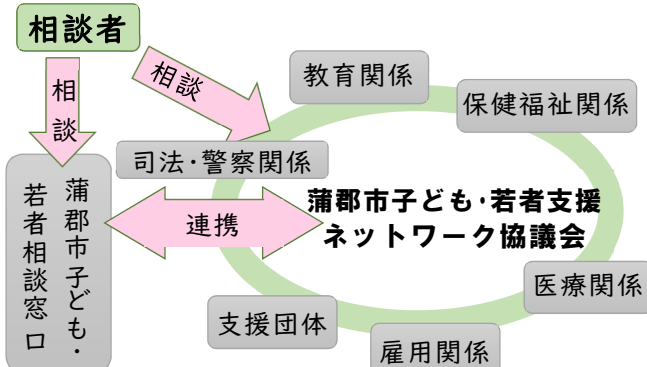
電話 0533-95-3100

または、LoGo フォームで

（上記 QR コードを読み取ると、下記のアドレスにつながります）

<https://logoform.jp/form/UpCD/99508>

- ※ 蒲郡市子ども・若者相談窓口は、蒲郡市教育委員会生涯学習課青少年センターが運営しています。
- ※ 生命の海科学館は火曜日が休館日です。



【おわりに】

「教育委員会委嘱の補導活動が幕を閉じます」

3年前から、青少年問題協議会や校外補導部会議・校長会議等で検討を重ね、皆の総意で決定してきた「補導活動に幕を閉じる」案件。ついにその時がやってきました。この3月末をもって、60年以上続けてきた教育委員会委嘱の補導活動はその役割を終え、幕を閉じることとなりました。

現在、本市の子どもや若者が犯罪や非行で警察に検挙された件数や補導された件数は、コロナウィルス感染症が5類に引き下げられ、世の中が活気づいてきて、大人の犯罪件数が若干増加傾向にある中でも年々減少していて良好です。

これは、学校や若者が荒れていた時代を含め、これまで補導活動に尽力いただいていた多くの皆さん方のおかげです。また、子どもや若者を見守り、育てていただいている各地区の健全育成協議会の皆さん方の活躍の賜物です。心から感謝申し上げます。

子どもや若者の生活の仕方や遊び方は時代の変化に伴い随分変化してきました。学校から帰ってからの子どもたちは、塾や習い事に充てている時間が多くなり、下校後すぐに広場に集まってみんなで遊ぶ姿は激減しました。各地域で夕方に補導活動をして、子どもの姿を見かけることが本当に少なくなりました。さらに、スマホを活用して友や仲間とつながりを持ち、直接顔を突き合わさずに要件を済ませたり、互いの家に居て離れていても対戦ゲーム等で一緒に遊べたりする生活となりました。加えて、街や店舗の各所に防犯カメラが設置されたり、喫煙所が激減したりするなど、街ぐるみの犯罪抑止力は年々補強され、確かな効果をあげています。かつてのワルやヤンキーといった姿は学校にも街にもほぼ皆無となりました。長きにわたり行ってきた補導活動は、その役割を終えてよい時代に入ったのです。

教育委員会委嘱の補導活動は幕を閉じますけれども、子どもが健全に育ち、明るい家庭が増え、街全体が一層落ち着いて活気のあるものになっていくことを心から願います。今後も青少年の健全育成は各中学校区で組織していただいている「地区健全育成協議会」を主体に、これまで同様執り行っていたいただきたく存じます。各地区の子どもや若者を温かく見守り、気軽に声をかけあえる地域の皆さん方と子どもたちの関係がいつそう醸成されることを願ってやみません。

そのために現在行っている素晴らしい「地域ふれあい活動」をいっそう充実いただけると幸いです。地域住民と子どもたちが笑顔で対話を深め、老若男女問わず絆をつくっていける活動になっていけるとよいと思います。子どもは地域の皆さんと共に活動することを通して、地域を愛し、地域の人々が好きになっていきます。その積み重ねが将来地域に還元できる大人に育ってくれるのだらうと信じます。子どものうちから地域活動に参画し、企画したり、お手伝いしたり、共に活動したりしていく経験を重ねることは大切なことなのです。

子どもは未来を託す宝物。世界や日本の未来のみでなく地域の未来も託す宝物です。これからも、「学校で育てる」「地域で育てる」、この両輪を軸にしつつ「共に育てる」ことを大切にしていきたいと思います。

＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発 行 日	令和 6 年 2 月 1 日
発 行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17	
生命の海科学館内	
電話 0533-66-1168	
表紙印刷・製本	親和原田プリント(株)